

令和3年度 武庫北小学校の教育（アンケート）について(お知らせ)

平素から本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、この度の学校アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。その結果の集計ができましたので報告いたします。なお、紙面の都合上、学年ごとを除き、全体のみとさせていただきます。また、記述でのご意見は主なものを記載しました。今回の結果を真摯に受け止め、さらなる向上を目指して、次年度の教育活動を展開していきます。ご協力ありがとうございました。

	学校アンケート	A+B そう思う	C+D そう思わない	令和2年度 そう思う	令和元年度 そう思う
1	学校教育目標「心豊かで自主性のある子」やめざす児童像（思いやり・学び続ける・体を鍛える）を実現するため学校は努力している。	95%	5%	93%	91%
2	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	93%	7%	93%	91%
3	子どもは、授業がわかりやすいといっている。	90%	10%	91%	87%
4	子どもは、1週間に1冊程度、読書（マンガを除く）をしている。	38%	62%	41%	49%
5	「参観日」や「学校行事」など、今年度の状況においての子どもたちを見る機会は適切に行われている。（元年度除く）	83%	17%	70%	97%
6	懇談会の回数や内容は、今年度においては適切である。	89%	11%	82%	95%
7	子どもの健全な成長を願い、生徒指導（生活）を適切に行っている。	95%	5%	96%	92%
8	道徳・人権教育・福祉教育・環境教育など「心の教育」の取組みを適切に行っている。	95%	5%	95%	92%
9	児童の安全対策（安全指導・不審者対策・防災訓練・校外児童会・集団登下校・安全管理員・保護者証等）は適切である。	92%	8%	93%	87%
10	学校は、花壇・掲示物・清掃等環境美化に努力している。	96%	4%	95%	90%
11	子どもたちが健康に生きていくための食育指導を適切に行っている。	97%	3%	94%	94%
12	参観や懇談会等の学校行事に参加されましたか。	92%	8%	90%	89%
13	子どもの学習内容や学校生活について知っている。	86%	14%	88%	87%
14	学子どものノートや学習プリント等を見ている。	85%	15%	87%	83%
15	子育ての不安や悩みなどがあった時、学校に相談しやすいですか。	82%	18%	83%	83%

- ・ 番号の網かけは、A(そう思う)の評価が昨年度に比べて増えた項目です。
- ・ 児童の読書に親しむ時間の減少が気になります。

【選択肢】 A⇒そう思う B⇒どちらかといえばそう思う C⇒どちらかといえばそう思わない D⇒そう思わない
今回の回収数は264枚です。（配布数は375枚） 回収率は 全体70%

【5】その他、お気づきのことがあればお書き下さい。との設問での記述。

学習について

- ・全員に配布されたタブレットを、とても上手く活用されていると有難く思っています。
- ・クロームブックの利用方法を再度考えるべきだと思っています。
- ・夏休みや冬休みの宿題を増やしてほしいです。
- ・子どもが植物を植えたり、食べられるものを育てたり、動物を世話したりをやってもらいたい。
- ・小学生のうちは、これだけは必ずする、させる、する習慣、する大切さを教えることも大切ではないかなと思います。宿題が出ている他校や他市と比べても学力に差が出てくると思いますので、宿題は出していただきたい。

安全について

- ・1年生が多く、高学年が少ない班の班長さんは4月など大変だと思いました。下校指導はありますが、登校指導も必要ではないでしょうか。
- ・遊ぶ場所がなく、公園での落下物の件もあるので危なく感じています。(校庭の開放をふくめて)

学校行事について

- ・調整が難しいと思うが、感染者が少ない時期に学校行事などを計画し、速やかに実行していただいていたら、できた行事や中止しなくても良かったものもあるのではないのでしょうか。
- ・参観日もとても良い雰囲気の中で温かい教育を受けていて良かったように思います。
- ・現在の状況において、参観などの回数の少ないのは、致し方の無いことですが、参観で授業中の態度などを知ることができ、改めて参観の必要性や少なさを実感しました。
- ・仕事の都合上、急に休むことは難しいので、行事の連絡については、数か月前にいただけると助かります。
- ・参観や懇談も少なく、非常に不安です。勉強もできているのか不安が大きいです。
- ・この状況の中、先生も大変だと思いますが、音楽会など先で見られる機会があれば嬉しいです。
- ・参観では、学校でしか味わえない良さが伝わってきて感動しました。みんなで協力して過ごす良さがあって、よい習慣になっていると感じました。
- ・音楽会は残念でした。去年のうちに実施しておけば・・・と思います。

新型コロナウイルスに関連して

- ・コロナ禍ということで、行事も少なくなつて残念ですが、行事などの子ども達を見る機会が来年度はもっと増えたらうれしいです。
- ・コロナ禍の中でも安心して学校に通えることができるのも、先生方のご尽力のおかげだと感謝しております。
- ・寒い冬の中、コロナ禍の為、窓を開けて授業をするなど、対策を練って頂き、保護者としても早く安心した学校生活を送れることを願っております。
- ・コロナ禍で大変な中、子ども達のためにありがとうございます。
- ・まだまだコロナがおさまりませんが、コロナに気を付けながら子ども達が楽しく過ごせたら嬉しいです。大変だと思いますが、宜しくお願いします。

学校施設のこと・その他

- ・トイレが新しくなると嬉しいです。
- ・トイレにスリッパを設置してもらいたい。上靴のままは不衛生だと思います。
- ・子どもはよく芝生広場があることがとても嬉しいと話しています。親としても、そのような学校は少ないと思いますし、子ども達がよいと思う、感じる事はとても嬉しいです。
- ・トイレが古くて使いづらいです。できれば、洋式を増やしてほしいです。
- ・友達関係のことで親身になって話を聞いてくださり、子ども達の間に入って色々話をしてくださり、本当に感謝しています。難しい人間関係、友達付き合いを色々気にかけてくださる先生がもっといたらな、と思います。
- ・給食の時間が少し短いような気がするので、食育指導の一環として、もう少しゆっくり味わえる時間を作っていただきたいと思います。
- ・登校時間を元の時間に戻してほしいです。
- ・給食もおいしいようで、食べられるものがたくさん増えたので、親としてはありがたく感じています。
- ・現在のクラスの様子一子どもから聞いている内容には驚いています。
- ・先生という存在は、子どもにとっても親にとっても、大切な存在です。
- ・毎日5、6時間は子どもも大変そうで、疲れが心配です。
- ・子どもは学校生活が楽しいようで、毎朝イキイキと出ます。学校であったことも家に帰って話してくれるので、嬉しく思います。先生方には感謝しております。

記述について

様々なご意見有難うございます。来年度の教育活動にむけて参考にさせていただきます。ご意見の全てを教育活動の改善に反映することはできないこと、ご理解いただければと思います。

GIGAスクール構想について

Society5.0 時代を生きる子どもたちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムだと言われています。文科省のリフレットには「1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する」「これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す」と記されています。

これまでの教育実践の蓄積と ICT の強みを生かして、学習活動の一層の充実を図り『主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善』を行うことが求められています。都道府県、市町、各学校においては格差が見られます。同じ学校内においてもこれまでの PC 端末に触れる児童の経験や教員の指導経験等の要因によって格差が生まれます。プログラミング学習や GIGA スクール構想を ○PC 端末を授業内でどんどん使う（回数や時間） ○宿題等を PC 端末を使ったものへシフトしていく というイメージされる方もいるかもしれません。しかしながら、現段階で大切なことは、『これまでの教育実践の蓄積と ICT の強みを生かして授業改善を進める』ことだと言えます。

県教委主催の学力向上シンポジウムでも、「ICT の活用によって日本の学校が強みとしてきた集団性や協働性を疎かにしてしまうことにつながっては元も子もない。両方の適切なバランス、ツールとして使うという見方が大切」「授業において効果がある時にタブレットを使うことが大切。コミュニケーションをより活性化するために、友だちの考えと自分の考えを比較し再考する時に…」「オンラインにおいて孤立した学びにならないように。個別最適化と協働的な学びを大切にする」という意見が出されました。本校では、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善として PC 端末をどうツールとして使うか（活用するか）、タブレットドリル等の PC 端末の強みを個別の学びにどう生かすか、児童の実態に応じて検討や研究を進めていきたいと思っています。PC 端末の使用頻度（時間数）よりも価値や効率を探っていきながら、試しながら進めたいと考えています。

学校行事とコロナとの関連について

行事の実施時期が変更になる 時期を変更したために実施自体が難しくなる あの時ならできたかも行事については、様々な思いがあります。新型コロナウイルス感染症の流行が上がるのか、下がるのか、いつまでこの状況なのか… 予想をたてることは難しいものがあります。学年ごと、学級ごとに校内で行う行事ならば「今がチャンス」と思った時に実施は可能かもしれません。施設やバス会社との調整等があれば一瞬のチャンスをうまく生かすことができないこともあります。

昨年度とは少しずつ変わってきたなと感ずることがあります。それは、できるだけ「教育活動を止めない」という思いが強くなってきたということです。教育長からも「教育活動の継続」という言葉があったと記憶しています。学校として、感染予防対応を徹底して行いながら、教育活動を継続させたいと思っています。しかし、国・県教委・市教委から通知通達の発出という形で指示がでます。感染状況によっては、“急に”ということもあります。指示によって計画内容の変更や実施のストップが余儀なくされる場合があります。保護者の皆様には勤務がある中で来校のために勤務の調整を行っていただいています。子どもたちにはお家の方に見てもらえる喜びがあったり、保護者の皆様には、我が子の頑張りや楽しい笑顔で安心できたりという思いがおりかと思ひます。申し訳ない気持ちがあります。ご迷惑をおかけしますが、今後ともご理解の程 よろしくお祈ひします。

学校施設などについて

本校は平成 29 年に 50 周年式典を行いました。校舎も廊下も天井も傷んでいるところがあります。子どもたちが一生懸命に掃除をしている姿をみると「もっと新しい校舎だったなら…」と思ひます。トイレについてのご意見をいただきました。市はトイレ改修の計画をしています、猛暑による空調整備工事が全国的に優先され、本校のトイレが全面的にきれいになるのはだいぶ先のように思ひます。市教委へのお願いを繰り返し、学校予算を執行することにより和式トイレの洋式化を 1 か所行える見通しとなりました。低学年児童の困り感に寄り添ひ、ほんの少しですが改修に着手します。子どもたちが掃除を頑張ってくれる。“古いけれども学校を大事に使う”優しい心を保護者の皆さんと学校とで大事にしていきたいように。施設等への奉仕活動など お願いする機会がくるかもしれません。お力添えをお願いします。